

## 第4学年国語科学習指導案

日 時 平成20年10月17日(金) 授業Ⅱ  
児 童 男子12名 女子9名 計21名  
授業者 尾山裕子

- 1 単元名 場面をくらべて読もう  
教材名 「一つの花」

### 2 単元について

#### (1) 児童について

第4学年物語教材「三つのお願い」では、音読発表会を開く目的で登場人物の様子や気持ちを読み取る学習を行った。どのように音読したらよいかを考え書き込む学習では、文章を読んで想像することが好きな児童が多い反面、苦手としている児童も数名おり、書き込む量や内容には個人差があった。また、音読発表会では、一人一人がどのように音読するかめあてをもって発表をした。発表後には自己評価をして自分を振り返るだけではなく相互評価を行い、学習の達成感と今後の学習への意欲を高めることができたと思われる。しかし、ひっかからずに文章を読むことで精一杯だったり、読み込むほど速くなってしまったりするなど課題もある。

また、第4学年物語教材「白いぼうし」では、場面の様子が想像できる言葉に着目し、どのような様子が分かるのかを書き込む学習を行った。しかし、具体的な書き込みのモデルを示すなどの手立てをしなかったこともあり、書き込みができる児童とあまりできない児童の差があった。

語彙力に関しては、豊かな児童はあまり多くないので、単元の始めには、分かりにくい言葉を出し合い、辞典で調べてみんなで確認したり、調べたことを掲示したりして言葉に触れる機会をつくってきたが、使いこなす指導ができていない。

自分の考えを書くことについては、苦手意識をもっている児童はあまり多くはないが、好んで書く児童も多くはない。さらに、自分の考えを発表する場面では、自信がない恥ずかしいなどの理由であまり挙手をしない児童もいる。

読書傾向に関しては、「本は友達」の学習で本を紹介するという活動を行い、以前よりは長い文章の本を読む児童が増えてきたが、文章を読むことを難しいと感じている児童は、絵本や図鑑などを好んで読んでいる。

#### (2) 教材について

この作品は、戦争中から戦後にかけて、時代が大きく移り変わるなかで、懸命に生きるゆみ子の家族の姿が描かれている。戦争の状況が変化していくのに応じて、ゆみ子を見守る両親の深い愛情が、美しくも悲しく、繰り返し描かれ、最後に、戦後のささやかではあるが幸せそうな母と子との生活の様子が描写されるという構造になっている。第三者がその場に居合わせて語っているような表現の仕方、登場人物の心情を直接表現する言葉がないのが特徴である。

戦中と戦後の、場面の対比によって表現されており、語句でいえば、「一つだけ」のコスモスと「いっぱい」のコスモス、また、「一つだけ」の食べ物と「お肉とお魚とどっち」とを対比させることによって、そのことが象徴的に描かれている。このことから、戦中、戦後の場面や人物の会話、行動の叙述をもとに、場面の移り変わりを想像しながら読み取る学習に適した教材である。

#### (3) 指導にあたって

つかむ段階では、戦争中の世の中の様子をとらえる活動を取り入れ、ふかめる段階で戦時中の状況をイメージ化させ、登場人物や場面の様子を豊かに想像することができるようにしたい。

ふかめる段階では、サイドラインを引かせたり叙述から想像できることを考えさせたりし、一人ひとりが教材に向き合うことができるようにしながら読み取っていききたい。そして、それぞれの考えを発表し合うことで、登場人物の行動の裏にある思いを読み取ったり、深めた

りしていきたい。

まとめる段階では、確かめる段階までに学習したことをもとに、題名にこめられた作者の思いを考えさせ、その考えを発表する活動を行う。その活動の中で、自分の考えと似ているところや違うところなどに気付かせていきたい。

### 3 指導目標

#### 【関心・意欲・態度】

○場面や登場人物の様子を想像しながら読もうとしている。

#### 【読むこと】

○登場人物や場面の様子を、作品の中の大事な言葉に気をつけて想像しながら読むことができる。  
(読むこと ウ)

○題名にこめられた作者の思いについて自分なりの考えをもち、友達の考えと比べることができる。  
(読むこと エ)

#### 【言語事項】

○表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べることができる。  
(言語事項 エ(イ))

### 4 単元指導計画 (全11時間)

段階	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準
3	1	・題名について話し合う。 ・全文を読み、感想を書く。 ・新出漢字、難語句を確かめる。	題名について考えたことをもとに全文を読み、強心に残ったこと、みんなで話し合いたいことなどについて初発の感想を書かせる。	題名から内容を予想したり、初発の感想をもったりしている。
	1	・全文を読む。 ・感想を発表し、話し合う。 ・学習のめあてを考える。	初発の感想を発表させ、それをもとに学習のめあてや計画を設定する。	初発の感想をもとに、学習課題を立て、学習の見通しをもっている。
	1	・難語句について調べる。 ・戦争中の世の中の様子について調べる。	戦時中の衣食住の様子、徴兵についてなどを、資料を用いてとらえさせる。	辞典や資料を用いて調べようとしている。
6	1	1の場面 ゆみ子が最初に覚えた言葉が「一つだけちょうだい。」だった理由について読み取る。	戦争中の厳しい生活に気付かせ、ゆみ子を思う気持ちから母の口ぐせが「一つだけ」になったことをとらえさせたい。	戦争中の様子を表す描写や母の言動から最初に覚えた言葉が「一つだけちょうだい。」だった理由を読み取っている。
	1	2の場面の1 父は、なぜゆみ子をめちやくちやに高い高いするのかを読み取る。	ゆみ子の将来を心配する両親の思いをとらえさせたい。	父の言動から、ゆみ子に対する思いを読み取っている。
	1	2の場面の2 母がゆみ子におにぎりを全部あげた理由を読み取る。	出征する父に泣き顔のゆみ子を見せたくない母の思いをとらえさせたい。	叙述を根拠に、おにぎりを全部あげた理由を読み取っている。
	2	2の場面の3 父は、なぜコスモスの花をゆみ子にあげたのかを読み取る。	父と母の言動に着目し、場面の様子をとらえるようにする。	コスモスの花をあげた理由を、父の言動をもとに読み取っている。

	1	3の場面 十年後のゆみ子が小さなお母さんになってお昼を作っている意味を読み取る。	母とゆみ子の暮らしぶりをとらえさせ、ゆみ子がどのように育ったかについて考えるようにする。	戦争後、ゆみ子が強く明るく生きていることを読み取っている。
まとめ 2	1	・なぜ、「一つの花」という題名なのかについて考える。 ・題名や強く心に残っていることについて感想をまとめる。	各場面で読み深めたことを確認して感想を書かせる。	自分なりの考えをもって感想を書いている。
	1	感想を交流する。	友達の書いたことのよさを認める姿勢で臨ませる。	友達の感想と自分の感想を比べて、その違いに気づいている。

## 5 本時の指導

### (1) 目標

もう会えないかもしれないお父さんを思いやるお母さんの様子を、読み取ることができる。

### (2) 授業の視点

- ・場面の様子をとらえるために、戦争の状況を読み取る。
- ・サイドラインを引いたり書き込みをしたりし、一人ひとり考えてから話し合いをする活動を入れる。

### (3) 展開

段階	学習活動	教師の働きかけ (・) 児童の反応 (→)	指導上の留意点
つかむ 5分	1 前時想起をする。	・ゆみ子の将来を心配する両親の思いについて振り返る。	・前時の学習のまとめを発表させて振り返る。
	2 本時の課題を確認する。	なぜ、お母さんは、ゆみ子におにぎりを全部あげたのだろう。	
ふかめる	3 本時の学習場面を音読する。(指名読) 4 詳しく読み取る。 (1) 戦争の状況を読み取る。	・場面の様子を想像しながら読みましょう。  ・戦争の状況が分かるところにサイドラインを引きましょう。 →「あまりじょうぶではないゆみ子のお父さんも、戦争に行かなければならない。」じょうぶでない人も戦争に行かなければならないほど兵隊が足りない大変な状況。行きたくなくても行かなければならない。 →「防空頭巾をかぶって行きました。」空襲がいつ来てもおかしくない状況。 →「かばんには、包帯、お薬、配給の	・速さに気を付けて読ませる。  ・戦争が激しくなり、いつ空襲が来るか分からない状況であり、お父さんが生きて帰ってこれないかもしれないことをおさえる。

32分	<p>(2) お母さんが、おにぎりを作った理由を読み取る。</p> <p>(3) おにぎりをねだるゆみ子の様子とそれに対するお母さんの様子を読み取る。</p> <p>(4) お母さんがゆみ子におにぎりを全部あげた理由を読み取る。</p>	<p>きっぷ、大事なお米で作ったおにぎりが入っていました。」包帯や薬、配給の切符などを持ち歩いている。お米は貴重なもの。</p> <p>・なぜ、お母さんは、大事なお米でおにぎりを作ったのでしょうか。 →戦争に行くお父さんに、おいしい物を食べてもらいたい。</p> <p>・おにぎりに対して、ゆみ子やお母さんの様子が分かるところに書き込みをしましょう。 →「ちゃあんと知っていましたので」お母さんが作るのを見ていて、おにぎりがあることを知っていた。 →「駅に着くまでにみんな食べてしまいました」一つでは満足せず、何回かねだった。 ・おにぎりをねだるゆみ子に対してお母さんは、どうしたでしょう。 →「食べてしまいました」本当は、おにぎりをあげたくなかったけれど、あげてしまった。</p> <p>・お母さんは、なぜおにぎりを全部あげてしまったのですか。 →戦争に行くお父さんに、ゆみ子の泣き顔を見せたくなかったから。 →おにぎりをあげなければ、ゆみ子が泣いてしまいそうだったから。 ・なぜ、お母さんは、お父さんにゆみ子の泣き顔を見せたくなかったと思いますか。 →お父さんはゆみ子の将来を心配していたので、別れる時にゆみ子の泣き顔を見ると、お父さんが心配すると思ったから。</p>	<p>・お母さんが貴重なお米でおにぎりを作ったのは、出征するお父さんを思いやる気持ちの表れであることを読み取らせたい。</p> <p>・「しまいました」という表現から、お母さんの思いとは反対に、ゆみ子が全部食べてしまったことをとらえさせたい。</p> <p>・「泣き顔を見せたくなかった」理由について考えることによりお父さんを思いやるお母さんの気持ちに気付かせたい。</p>
まとめ 8分	<p>6 学習のまとめをする。</p> <p>7 次時の予告をする。</p>	<p>・お母さんが、ゆみ子におにぎりを全部あげたわけについて読み取ったことをもとにまとめましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>お母さんは、ゆみ子の泣き顔をお父さんに見せたくなくて、ゆみ子が泣かないように大事なおにぎりを全部あげた。</p> </div>	<p>・本時の学習を振り返り、課題に係わる大事なことをおさえてからまとめさせる。</p> <p>・まとめを書き終わったら、本時の学習の感想を書くようにさせる。</p>

具体の評価規準

A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する児童への支援
お母さんは、出征するお父さんを思いやり、おにぎりを作ったり、ゆみ子を泣かせないようにしたりしたことを読み取っている。	お母さんは、お父さんにゆみ子の泣き顔を見せたくなかったことを読み取っている。	机間指導で、本時の学習内容を振り返り、「泣き顔を見せたくなかったのでしょうか。」に着目させる。

(4) 板書計画

